



■被災地出張授業……2015年1月23日

高校生に期待する —自己改革を図る—



講師：浦野 光人 幹事(ニチレイ相談役)

2015年1月23日、IPPO IPPO NIPPON プロジェクトによる被災地出張授業を、岩手県立久慈東高等学校で行った。今回の講師、浦野光人幹事(元副代表幹事・教育問題委員会委員長)は、間もなく専門課程へと進む一年生162人を前に、「企業とは」「自分を磨くことの大切さ」などについて語った。

「大人」とは、覚悟を決め 責任を取ることをいとわない

地球という環境の中で、人は一人では生きていけず、さまざまな支え合いで社会が成り立っています。皆さんはまだ高校生ですから、自分が人の支えになれるのか、人の役に立つことができるのか、自信がないかもしれません。しかし、若い皆さんの存在は、家族や地域の方々のモチベーションの源泉です。地元で支え合う輪の中に入っているという確信を持ってください。

そして、高校を卒業するときに「大人」の仲間入りだと、ぜひ在学中に覚悟を決めてほしいと思います。そして、18歳で社会に出て仕事、あるいは専門的な学問の道を、自ら切り開いてほしい。「大人」

とは、他人のための面倒を引き受ける覚悟を決め、責任を取ることをいとわない人間です。そのために、高校生活で自分を磨くことに励んでください。

失敗してもいい 今は経験を重ねるとき

人は誰もが誰かに支えられて生きていると話しましたが、人生には、自分の力しか頼れない瞬間がいくつもあります。そのとき、自信を持って乗り切るために、今のうちにいろいろなことにチャレンジして経験を積んでください。

勉強や部活動やアルバイトなどをする上で、「聞く、聴く、訊く」という段階を経ると、あるときストンとぶに落ちる、つまり納得することができます。そのような経験が、きっと後に活かされるとき

がきます。また、美しいものに素直に感動する心も大切です。感性や情操は人生を豊かに彩ってくれます。

学校の授業で学ぶことは、もちろん大きな礎ですが、学力だけでは生きてはいけません。いざというときの忍耐力、耐久力、不安耐性をつけるためには、いろいろなことに挑戦して、失敗を重ねてください。失敗することで、人は強くなっていくのです。今は多くの経験を積み重ねることが大切なのです。

今勉強するのは 世の中の課題を解決するため

将来、事業を立ち上げる人もいるかもしれませんが、皆さんの大部分は企業に勤めることになるでしょう。企業には、私たちの暮らしをしっかりと見つめながら、私たちが抱えている課題を、得意な立場で解決するという大きな役割があります。

例えば、ニチレイは食品会社です。女性の社会進出が進み、共働きのライフスタイルも増えています。これに伴い、日々の食事の準備は簡潔に、そしておいしく食べたいという生活者の課題が出てきました。そこで、冷凍食品という、電子レンジで簡単にできる商品を一生懸命開発しました。

皆さんが企業に入ったら、与えられた仕事をこなすだけでなく、必ず根源的



な役割まで考えてください。自分の働く会社は、世の中のどのような課題を解決しているのか。その中で自分のポジションを見極めながら、どのようにすれば世の中の役に立つのかを考えてください。そうすれば、きっと解決策が見えてくるでしょう。

解決するための考え方の筋道は、学校の勉強が教えてくれます。数学、国語、社会、物理、化学、それらの学問は先輩方の大変な努力や失敗の積み重ねの中で確立されたものです。なぜ勉強するのか。それは将来、世の中の課題を解決することに結び付くからです。

最後に、目標と手段の区別をつけましょう。就職や進学を目標とは思わないでください。目標はもっと遠くに、高く掲げ、就職や進学はそれに近づくための手段でしかありません。高校生活の残りの二年間、熱い心と冷静な頭脳で成長してほしいと思います。

質疑応答

Q 企業は、どのような力を持っている人を採用したいと考えているのですか。

A 採用のポイントはいくつかありますが、二つに絞ってお話をしたいと思います。一つは、その人が友達や先生や地域の人たちから、信頼されているかどうかです。この人なら大丈夫、と思われている人です。人を評価する場合、本人のことだけでなく、周りの人の信頼を得ているかどうか、大きなポイントの一つになります。信頼は、勉強を通じて得ることもできるでしょう。勉強や普段の行いを通じて、ぜひ信頼を培ってく

ださい。

もう一つは、いろいろなことに素直に疑問を持てる力がある人です。例えば、今の仕事はもっと効率的にできるのではないかと疑問を持つことです。実は、会社の仕事は、意外と無駄があったりします。世の中が変わっているのに、昔ながらのやり方で unnecessary 作業を繰り返しているなど、長く働いていると当たり前と思って気付かないことがあるのです。

一つの例があります。商品を倉庫からトラックに乗せてお店に運ぶ一連の作業の中で、数が合っているかなどの確認作業を何回もしますが、今はITが発達しているため、ほとんど間違いはなく、確認作業を何度も行う必要はありません。



あるとき、若手社員にそのことを指摘されて、作業の簡略化を図り、かなり効率的に作業を行うことができるようになりました。

自分が今やっている作業はどういう意味を持つのか、正しいのか、もっと効率的なやり方はないのか、きちんと考えることができる人を採用したいと思っています。

生徒の感想

●印象に残ったのは、失敗してもいいという話です。やはり失敗するのは怖いし、周りからどう思われるのかを気にしてしまいます。気分も沈むので、諦めてしまうのが今の私です。しかし、失敗しないと成功もないと思いました。将来は介護の仕事に就きたいので、失敗が許されない職業ですが、この仕事に就いて良かったと思えるよう頑張りたいです。

●地球が誕生して46億年を1年に換算すると、人間が生まれたのが12月31日午前10時40分で、農耕が始まったのは午後11時58分52秒、という話を聞いてとても驚きました。人の命はほんの一瞬、でもその中で多くの人に支えられ、支えながら生きている。なかなか実感が湧きませんが、今生きて勉強していることがとても意味のあることだとあらためて思いました。

●講演を聴いて、私は友達、先生、地域の方々、家族に支えられて生活ができていることをあらためて確認できました。毎日の食事に多くの輸入品があり、外国で働いている人にも感謝したいと思いました。今はいろいろな場面で周りのみんなを頼ってしまいますが、失敗してもいい、失敗した後の行動が大事だ、これからの自分の行動を変えたい

と思った一時間でした。また、周囲から信頼されているかを考えてみると、私は自分の行動に責任を持っていないのではないかと思います。信頼される人になるために努力したいです。

●大人になりなさいと言われる言葉の意味が今まであまり理解できませんでしたが、講演を聴いて少し意味が分かった気がしました。人と人が支え合っている輪の中に入り、その中の一人として社会で生きていけるような人を目指したいと思いました。勉強も、やらされているとマイナスに考えるのではなく、将来に向けて必要なことを学んでいるというプラスの考えを持って学んでいきたいです。普段の生活の細かいところに目を向けて、「どうして?」「なぜそうなったのか?」と疑問を持つことを大切にし、自分自身の考えを広げていけるようにしたいです。

●「人間は無力」。この講演で一番心に残る言葉です。人と人がつながり合い、集団と集団で支え合ってこの社会は成り立っています。それでも課題や欠点は多くあり、それを解決するために一人ひとりが考え、変わっていく必要があると思いました。自分が変わり努力することで、周りに影響を与え、全体を変えることができるかもしれません。将来のために勉強はもちろん、さまざまなことに挑戦したいと思っています。